



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.goodream.co.jp/hoyukai/>

第24号

発行: 2008年4月15日
発行責任者: 特定医療法人社団 鵬友会
事務局長 池島 守



鵬友会 20年度 目標と方針 “和と連携”

特定医療法人社団鵬友会 理事長 児玉 喜直

昨今の医療、福祉情勢を見ておきますと、益々厳しい情勢になっているように思えます。氷河期だの医療崩壊だの朗報とはおよそ縁のない噂（情報）が巷を徘徊しております。しかし、この世に人類が存在している限り、医療や福祉といった人の営みが無くなる事はありません。そこで鵬友会の20年度の目標を要約して「和と連携」をあげたいと思います。鵬友会は、湘南泉病院、新中川病院、横浜ほうゆう病院、老健施設阿久和鳳荘という3病院1施設から成り立っています。4つの会社から成り立っているという事でしょう。

今、M & Aなるものが大流行ですが、あまり似かよっていないもの同士のM & Aも多数見受けられます。企業として大きくなる為、利潤を追求するだけと思われるようなM & Aも見受けられます。当法人は一味違います。それは、人類愛を土台にした集合体だからです。この4つの会社（3病院1施設）は似てはいますが、全て性格も機能も異なります。機械でいうならば4つの歯車のようなものです。歯車がうまく噛み合わなければ機械は動きません。ちゃんと、手入れをしておかないと“我儘、怠惰、セクト主義”などといった錆がすぐ出てきて、機械はうまく動かなくなってしまいます。4つの歯車がうまく噛み合うようにするには、潤滑油が必要です。この潤滑油にあたるものが「和と連携」であると思います。ではどうしたら良いのでしょうか。

4施設には、優秀なリーダーがいます。そのリーダー同士が仲良くしていれば潤滑油になるので

しょうか？確かに理事会等で年に3～4回は会っていますが、それだけでは充分ではないような気がします。何かないか、勉強会はどうか。看護部は時々やっているようだが、医局は？薬局、リハ科、検査科、レントゲン科、栄養課、医事課を始めとした事務方は？等々…。でも勉強嫌いな人もいるかも知れない。それでは飲み会はどうか？ダベってカラオケはどうか？私のように無口の人や音痴の人もいるかも知れない。趣味の会はゴルフ、テニス、碁、将棋等々、種類の違う趣味を持っている人だけではどうしても限られてしまう。どうもうまくいきそうもない。それでは、どうしたら良いのか？もう一度、最初に戻ってみましょう。「和と連携」要するに仲良くしてよくコミュニケーションを取る事だな、4つの歯車の中で、今これを一番良くやっているのはやはり看護部のようだ。職場の特殊性から職員数の約68%を占める看護師の集団が今それをやり出している。看護部の次は医局か。医局も副院長を中心にNSTの実践などに取り組んでいる。どのような形で人の交流を行うかは、各施設のリーダーも含めた皆で考えてみては。言うは易し為すは難しとは思ふ。何もしなければ何も生まれないのだから。もちろん一朝一夕にできるものではない。20年度の目標と言うより、今後20年間の目標と言い変えた方が良いかも知れない。

忙しいのは百も承知。先ずスタートしてみましよう。20年度の目標と方針は、この「和と連携」のスタートの年にしたいと思います。

国家試験 合格おめでとうございます！



湘南泉病院 看護師
高泉 令子
「継続は力なり」学び
得たことを現場につな
げていきたいと思いま
す。



湘南泉病院 看護師
森 麻梨子
夢を願って、努力すれば
必ず叶うと確信しました。
これからはさらに目標を
高く、頑張りたいと思
います。



ほうゆう病院 精神保健福祉士
齋藤 恭果
これからも先輩方を手本
として、頑張っていきた
いと思います。



ほうゆう病院 精神保健福祉士
原田 敦朗
当初からの目標であった
P S Wに合格しました。
妻の介護の経験を活かし
患者様、ご家族様へより
良い支援、相談ができる
よう、頑張っていきたい
と思います。



阿久和鳳荘 介護福祉士
吉塚 誠
やっとスタートラインに
立てた気がします。これ
からも頑張ります。



阿久和鳳荘 介護福祉士
今村 美貴
介護福祉士として、その
名に恥じぬよう、これか
ら頑張っていきたいと
思います。



阿久和鳳荘 作業療法士
滝口 直子
1年間の経験をえて、合
格できたと思います。
これからも頑張ります。



ほうゆう病院 介護福祉士
川原 由美
2度目の挑戦で合格でき
ました。少しずつレベル
アップするよう、努力し
ていきます。



鵬友会事務局長 受賞！



特定医療法人社団 鵬友会
事務局長 池島 守

鵬友会 池島事務局長が、社会
保険委員として、推進に積極的
に協力し、厚生労働大臣賞を受
けました。



横浜ほうゆう病院 受賞！

平成19年度 神奈川県看護学会看護研究
を公表し、4名が受賞いたしました。

テーマ 「行動・心理症状が目立った認知症
高齢者の対応」

横浜ほうゆう病院

看護師 青木 清子 (発表者)
看護師 佐久間由美子
看護師 片瀬 克子
看護師 永澤 直美

